

加貫ローラ製作所、大阪ものづくり優良企業賞で最優秀賞受賞

(株)加貫ローラ製作所(加貫順三社長)がこのほど、「大阪ものづくり優良企業賞2011」の最優秀企業賞に輝いた。

同社は1899年創業の112年企業。1923年にSK式ゴムローラー(特許)を開発。以来「技術のカツラ」として印刷用・工業用各種ローラーやケミカル製品を発表し、日本の印刷用ゴムローラーの先駆者として業界の発展に大きく貢献してきた。近年では耐熱性、耐磨耗性、耐溶剤性に優れた環境に優しい印刷資材を市場に提供し続けている他、液晶ディスプレイや太陽光発電などに用いる各種高機能フィルムの分野でも実績を積んでおり、ドイツのミラックス社、アメリカのロスタイン社との技術提携を行うとともに、世界のローラー会社で構成するGRTGのメンバーとして世界的に事業を展開している。

今回の受賞は、優れた開発力とミクロンの精度に挑戦している同社の高い技術力が評価されたもの。



坂本進理事(坂本造機(株)社長)が 大阪府商工関係者表彰

このたび、近畿印刷残業機材協同組合の坂本進理事(坂本造機(株)社長)が、「平成23年度 大阪府商工関係者表彰」の荣誉に輝いた。

同賞は、団体の役員として5年以上従事し、業界の振興と本府産業の発展等に尽力した功績が顕著な方々を表彰するもの。

1月20日には、その授賞式がエル・おおさかで開かれ、賞状の授与・記念品贈呈をもって、その荣誉を讃えた。

印刷技術の確かな価値 JP2012 情報・印刷産業展

JP産業展協会(南貴夫会長)は6月14日から16日、インテックス大阪3号館において「JP2012情報・印刷機材展」を開催する。第36回を迎える今回は、時代環境の大きな変化に合わせ、「オープン・イノベーション・イベント」としての開催を目指す。また、初の試みとして「AR(拡張現実)」を活用して出展社のブース位置を確認できる実演が行われる他、JPオープンセミナーは「after drupa2012」として、drupa2012に出展した企業の報告会が行われるなど多彩な企画が用意されている。

「オープン・イノベーション・イベント」へ

6月14日から16日までの3日間、
大阪・南港のインテックス大阪で

JP展は、印刷業界内の技術強化を目的とした「トレーディング・ショー」として西日本印刷業界の経営基盤強化に貢献してきたが、JP2012では、時代環境の大きな変化に合わせ「オープン・イノベーション・イベント」としての開催を目指している。印刷業界とソリューション提供メーカー、印刷利用者の3者が顔を合わせて道を開く。また今回は、去る3月13日に、出展企業と主催者側の意志疎通を深める場として、「プレJP2012」を開催しており、その意見を可能な限り反映することで、さらに充実したJP展となることが期待できそうである。

また、今回から新たな取り組みとして、会期中にAR(拡張現実)とGPSを併用して、出展企業のブース位置を確認する空間認証デモ「仮想気球JP号で空から探そう」を、出展企業20社の協力を得て実演する。

これは、スマートフォンの代表格であるiPhoneを使って、利用者の立ち位置から協賛20社の社名が、そのブース位置の上空に正確に浮かび上がるというもので、社名をタップすると出展コンセプトや製品が明記される。協賛20社のブースを訪問すると「仮想気球JP号で空から探そう・協賛企業」の統一タイトルの付いたA4サイズのブース紹

介チラシが置かれているので、そのチラシを5枚以上集めて「仮想気球コントロールタワー」に持って行くと記念品を受け取ることができる。詳細説明および参加の方法については、コントロールタワーで案内している。

また今回は、「drupa2012」の開催直後であるため、JPオープンセミナーは、「after drupa」として、JP出展各社の中からdrupaに出展した企業が会期3日間を通して報告会を行う。なお、after drupaのプログラムは、5月中旬頃から発表される予定となっている。